

海の声

地域の皆様と保護者の皆様と
子どもたちとわたしたち
御所浦小でおこすステキな奇跡

~VOICE OF OCEAN~

御所浦小学校
学校通信
令和4年12月11日
文責・木村純一

43

Iku Nigeru Saru ○○○

御所浦小ホームページのトップページはコチラ→



3学期もよろしくお願ひします！

3学期は、最も短い学期です。一月は「いく」、二月は「にげる」、三月は「さる」と表現したりもします。しかし、その3ヶ月には、1年間の学校生活の学びの大切なことがギュッと詰まっています。

学習はまとめに入ります。「今年はともかくとして来年はがんばろう」とはなかなかいかないのが学習です。来年の学習は、今年の学習の習得の上に展開します。つまり、今の学年の学習内容をマスターしておいた方が、次の学年の学習はよりスムーズに習得できると言うことです。各担任も、そして御所浦小スタッフ全員で子どもたちの学習の習熟にエネルギーを注ぎますので、家庭での励ましをお願いします。

そして、3学期は別れの季節でもあります。これまで、御所浦小をさまざまなシーンでリードしてくれた6年生

とのお別れの時が近づいてきます。私たちスタッフの数名も御所浦小に別れをつけることになると思います。また4月から違う小学校での一歩を踏み出す子もいると思います。私も教員になって若い頃はこの季節がいやでいやで仕方ありませんでした。でも、別れは次のステージへの大切な一歩であると思います。今をせいっぱい生きることが大切であることを教えてくれるんだと思います。そのためにも、後悔をしないように毎日毎日をがんばってほしいと思います。



保護者の皆様には、ここまで御所浦小学校を支えていただき本当にありがとうございます。難しいことも、あたたかい応援のおかげで乗り越えることができました。もっともっとすばらしい令和4年度を迎えるために、令和3年度の残り3ヶ月をよろしくお願ひします。

ステキなステキなイルミネーション



令和3年12月24日金曜日、御所浦町あここの里前広場でステキなステキな時間が流れました。イルミネーション点灯式です。

令和3年度のイルミネーションの取組は、実行委員会の皆様が企画提案した子どもたちもビックリするくらいのステキな演出で組み立ててくださいました。イルミネーション点灯の瞬間、子どもたちの達成感は最高潮に達したことと思います。

こんなステキな体験ができる小学生が世界にどれだけいるのかな、と思います。地域の皆様の愛に支えられて、子どもたちが育まれていることをとてもありがたく思います。

さらに付け加えれば、当日だけではなく、子どもたちの企画提案、8人全員がプレゼンテーションをするというなかなかダイナミックなところから、令和3年度の取組は始まりました。事前にプレゼンを観たときに「え？無理では？」とってしまう内

容もありました。しかしそれらすべてを叶える形で取組は進みました。カウントダウン後、周囲を包み込むような歓声が起こった点灯の瞬間は、実行委員会の皆様の毎夜の設営作業、そして子どもたちにできるところの製作活動、また仕事の合間を見て設営作業に参加してくれた本校スタッフの気持ち、それらすべてにありがたかった瞬間であったと思います。

子どもたちはあの瞬間を忘れないと思います。もう少しだけ年齢を重ね、この島にいたとしても、遠く離れた地にいたとしても、その場所で一生懸命がんばる原動力となり得る体験をさせてもらったことをありがたく思います。

言い尽くせない感謝の気持ちをこめて記事を書かせていただきました。本当にありがとうございました！

聞こえる歓声は6年生への最高のプレゼントです！



ときがとまる！ステキなステキなカウントダウン！



ばえますね！とてもいいアイデアでした！



巨大タワーの中がまたエモい！

広場はまるで、闇夜に急に現れた移動遊園地のようなものでした。その幻想的な光の空間に、子どもだけではなく、感嘆の声を漏らし、6年生が考えた「バエルカベガミ」「カマクラ」「オバケヤシキ」「ビックリバコ」「クイズラリー」等を楽しそうに体験していました。



サンタハウスがまさかの・・・？

KAMAKURA is so good !



言葉は心にひびく

年をとつてくると、正義やモラルより友情を大切にするドラマや映画に共感できなくなっている自分があります。でも、視点を変えようと、純粋に友情をエネルギーにできる若さってすばらしいです！(答えは右端です)

(編者折原)×(写真)×(編集)